

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年8月4日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 明彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 高橋 博史 TEL 03-5778-7777(代)
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	27,763	154.0	9,455	—	9,827	724.4	7,931	740.2
2022年3月期第1四半期	10,932	△39.1	768	△79.5	1,192	△71.5	944	△71.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 6,695百万円(212.0%) 2022年3月期第1四半期 2,146百万円(△46.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	136.54	135.16
2022年3月期第1四半期	15.42	15.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	305,566	273,138	88.9
2022年3月期	309,213	270,120	86.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 271,592百万円 2022年3月期 268,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	29.6	29,000	35.8	29,500	32.5	20,000	8.3	344.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループは事業計画を年次で管理しており、通期での開示のみとしております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期1Q	66,339,100株	2022年3月期	69,597,500株
2023年3月期1Q	8,275,200株	2022年3月期	11,340,565株
2023年3月期1Q	58,093,518株	2022年3月期1Q	61,208,491株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済正常化の進展を背景に景気の持ち直しが期待されておりましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大、資源価格の高騰や急激な円安の進行等による物価上昇懸念の高まりもあり、先行きは不透明な状況にあります。

当パチンコ・パチスロ業界では、長期化する半導体等の電子部品不足が、遊技機メーカーの販売スケジュールにも色濃く影響を及ぼすとともに、機種によってはパーラーの購入希望台数に対して、十分な供給が出来ないといった状況も発生しております。このような状況から、パチンコ機においては、総販売台数が前年同時期に比べ減少しております。他方、パチスロ機においては、2022年7月以降本格的な普及が始まる6.5号機登場までの買い控えとも相まって厳しい環境が続いております。

当社グループでは、当第1四半期連結累計期間におきまして、部品調達難に対し、先行手配や調達経路の拡充、遊技機の下取り・部品リサイクルの強化などあらゆる手段を講じることで計画通りの事業進捗に努めてまいりました。この結果、パチンコ機関連事業においては、新規タイトルとなる「フィーバー ダンまち」や、2021年8月にリリースし、今もなお好評を博している「フィーバー 機動戦士ガンダムユニコーン」の追加販売など、新規2タイトルと再販、リユース機等を含む計5タイトルを販売し、順調に販売台数を積み上げることができました。

以上の結果、売上高277億円（前年同四半期比154.0%増）、営業利益94億円（前年同四半期は7億円の営業利益）、経常利益98億円（前年同四半期比724.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益については、投資有価証券の売却による特別利益の計上もあり79億円（同740.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高264億円（前年同四半期比187.6%増）、営業利益109億円（同453.3%増）、販売台数62千台（前年同四半期は22千台）となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバー ダンまち」（2022年5月）、「フィーバー 蒼穹のファフナー3 EXODUS 超蒼穹3800 ver.」（2022年6月）の2タイトルであります。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、新規販売タイトルがなく、売上高6億円（前年同四半期比38.9%減）、営業損失2億円（前年同四半期は3億円の営業損失）、販売台数は1千台（前年同四半期は2千台）となりました。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高6億円（前年同四半期比0.6%減）、営業損失12百万円（前年同四半期は22百万円の営業損失）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高42百万円（前年同四半期比13.1%減）、営業利益1百万円（同59.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,055億円であり、前連結会計年度末と比べ36億円減少しました。これは主に、原材料及び貯蔵品が16億円、繰延税金資産（投資その他の資産「その他」に含む）が8億円それぞれ増加となりましたが、投資有価証券が22億円、受取手形、売掛金及び契約資産が20億円、現金及び預金が15億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は324億円であり、前連結会計年度末と比べ66億円減少しました。これは主に、預り金（流動負債「その他」に含む）が12億円増加となりましたが、電子記録債務が62億円、未払法人税等が15億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ30億円増加しました。これは主に、配当金の支払い29億円、その他有価証券評価差額金が12億円減少、自己株式の取得7億円を計上した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を79億円計上したことによるものであります。なお、2022年5月12日開催の取締役会において決議された、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却につきましては、2022年5月31日に実施しております。この結果、純資産は2,731億円となり、自己資本比率は2.1ポイント増加し、88.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,013	96,452
受取手形、売掛金及び契約資産	17,230	15,138
有価証券	134,999	135,000
商品及び製品	1,908	1,297
仕掛品	22	34
原材料及び貯蔵品	5,889	7,566
その他	6,797	6,995
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	264,859	262,482
固定資産		
有形固定資産	25,980	26,112
無形固定資産		
その他	164	151
無形固定資産合計	164	151
投資その他の資産		
投資有価証券	13,288	11,038
その他	4,932	5,781
貸倒引当金	△12	△0
投資その他の資産合計	18,209	16,820
固定資産合計	44,353	43,084
資産合計	309,213	305,566
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,539	8,280
電子記録債務	10,454	4,209
未払法人税等	4,299	2,775
賞与引当金	734	1,181
株主優待引当金	122	122
資産除去債務	2	—
その他	6,794	7,720
流動負債合計	30,946	24,289
固定負債		
退職給付に係る負債	4,911	4,906
資産除去債務	73	75
その他	3,162	3,155
固定負債合計	8,147	8,137
負債合計	39,093	32,427

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	264,842	258,192
自己株式	△40,558	△29,599
株主資本合計	262,874	267,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,646	4,413
退職給付に係る調整累計額	△1	△4
その他の包括利益累計額合計	5,645	4,409
新株予約権	1,600	1,546
純資産合計	270,120	273,138
負債純資産合計	309,213	305,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	10,932	27,763
売上原価	4,779	12,221
売上総利益	6,153	15,541
販売費及び一般管理費	5,385	6,086
営業利益	768	9,455
営業外収益		
受取利息	22	20
受取配当金	289	298
その他	115	54
営業外収益合計	427	373
営業外費用		
投資事業組合運用損	2	—
その他	0	1
営業外費用合計	3	1
経常利益	1,192	9,827
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	—	1,303
関係会社株式売却益	13	—
特別利益合計	13	1,305
特別損失		
固定資産廃棄損	6	1
特別損失合計	6	1
税金等調整前四半期純利益	1,199	11,131
法人税、住民税及び事業税	212	3,525
法人税等調整額	43	△325
法人税等合計	255	3,199
四半期純利益	944	7,931
親会社株主に帰属する四半期純利益	944	7,931

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	944	7,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,206	△1,233
退職給付に係る調整額	△4	△2
その他の包括利益合計	1,202	△1,235
四半期包括利益	2,146	6,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,146	6,695
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式212,800株を取得し、また、2022年5月12日開催の取締役会決議に基づき、2022年5月31日付で自己株式3,258,400株の消却を実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、利益剰余金が11,652百万円、自己株式が10,888百万円それぞれ減少し、当第1四半期連結会計期間末において、利益剰余金が258,192百万円、自己株式が29,599百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,189	1,029	663	10,883	49	10,932	—	10,932
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,189	1,029	663	10,883	49	10,932	—	10,932
セグメント利益 又は損失(△)	1,981	△338	△22	1,620	4	1,625	△857	768

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,431	628	660	27,720	42	27,763	—	27,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	26,431	628	660	27,720	42	27,763	—	27,763
セグメント利益 又は損失(△)	10,963	△289	△12	10,661	1	10,663	△1,207	9,455

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。